

事業名 **緊急雇用創出事業（文化財整理事業）**

政策	明日につながる産業の振興	施策	就業環境の整備	基本事業	就業機会の確保		
部名	教育部	事業開始年度	平成21年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	郷土資料館	事業終了年度	-年度	区分2	補助		

事務事業の目的と成果	
対象	郷土資料館収蔵資料 ・市民
意図	郷土資料館収蔵資料を適正に保管し、利用可能な状態にする。 ・この事業により、市内の雇用を創出する。
手段	郷土資料館収蔵資料を整理し、資料の適正な保管を図るとともに、市民や研究者への閲覧等の活用に対応できるようにする。 ・本事業の遂行にあたり、臨時的任用職員を募集することにより、市民に雇用の機会を増やす。

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	郷土資料館収蔵点数	点		18,000	18,000	18,000	
対象指標2	市民	人		122,568	122,568	122,138	
活動指標1	整理資料点数	点		4,373	6,300	5,000	
活動指標2	臨時的任用職員応募者数	人		50	4	30	
成果指標1	収蔵資料点数における整理済点数の割合(%)	%		24	35	28	
成果指標2	雇用者数	人		4	4	4	
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	0	2,755	3,221	3,439	0
正職員人件費(B)		千円	0	4,149	4,164	4,888	0
総事業費(A)+ (B)		千円	0	6,904	7,385	8,327	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)	

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

維持：現状の目的や方法に変更がなかつ3年度実施する事業
 見直し：現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
 休廃止：21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
 新規：23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低下			